

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

2020年度(令和2年度)

# 事業報告



これからライフデザイン塾絵手紙教室作品

## 2020年度(令和2年度)活動報告

1、活動のまとめ	… 1
2、2020年度事業活動実績	
1)在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア活動)	
①大切な人を亡くした方の集い	… 3
②患者らいぶらり	… 3
③宮崎聞き書き隊	… 3
④看取り寄り添いナース・ボランティア	… 4
⑤緩和ケア病棟園芸ボランティア	… 4
⑥がん患者団体との情報交換	… 4
2)人材養成のための教育プログラム	
①これからライフデザイン塾(2020年度日本郵便年賀寄付金配分事業)	… 5
②市民公開講演会(2020年度宮崎市在宅療養相談事業)	… 6
③がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)	… 8
3)エンドオブライフケア支援事業	
①暮らしの保健室	… 9
・ゆるりサロン、えがおキッチン、セルフケアのためのお灸教室、ゆるり短歌会	
②ふらっとカフェ(がんサロン事業・宮崎県委託)	… 12
③宮崎市在宅療養相談支援事業(宮崎市補助事業)	… 13
4)ホームホスピスカあさんの家事業	… 14
5)医療・介護保険規定による事業	
①訪問介護ステーションぱりおん	… 17
②訪問看護ステーションぱりおん	… 18
6)たちばな在宅総合支援ハウス事業(街中ごちやまぜプロジェクト)	… 19
7)ホームホスピス推進研修センター事業	
①日本財団・在宅ホスピス実践リーダー養成研修	… 20
②ホームホスピススキルアップ研修	… 20
③一般社団法人全国ホームホスピス協会の事務局運営	… 21
8)情報・広報	
①ニュースレター発行、ホームページ、マスコミなどの紹介、雑誌などへの掲載	… 22
②講師派遣、見学者受け入れ	… 22
9)助成・寄付	… 23
10)組織運営	
①理事会・定期総会	… 23
②事務局	… 24

# 1. 活動のまとめ

## ◎はじめに

2020年4月、年度はじまりにコロナ感染拡大を抑えるために緊急事態宣言が全国一斉に発出され、県外への移動や外出も制限され社会生活が一変しました。その為に事業計画も感染状況を見ながらの取り組みとなり、**多くの事業が中止または延期**せざるを得ない状況となりました。

特にホスピスボランティア事業の**患者らいぶらり、園芸ボランティア、大切な人を亡くした方の集い**は、医療機関への出入りが禁止となり、実施することができませんでした。しかし、いつでも再開できるように心構えを持ってくださっています。

また、**ふらっとカフェ（がんサロン事業・宮崎県委託）**も、県立宮崎病院がコロナウイルス感染症特定医療機関であることから、中止せざるを得ませんでした。しかし、がんの患者さんは、不安をかかえ、どこに何を相談したらよいか、何を医療者に伝えたらわかってもらえるかなど、心の内を吐き出し整理していく場所が必要でした。宮崎県担当課と協議し、7月より「暮らしの保健室」での開催を認めてもらいました。

このような状況の中での教育プログラムは、大勢を集客する集まりから少人数の集まりに、またZOOMでのオンライン研修会などにと、**研修事業の在り方を模索した一年**となりました。「ピア」上映会&講演会は集まる人数を制限し、感染対策をしての開催でした。直前に宮崎市内でクラスターが発生し、感染拡大の隙間を縫って実施でき胸をなでおろしました。「これからライフデザイン塾」は少人数で、「がんカウンセラー養成研修会」は、会場とオンラインでのハイブリッド研修会となりました。

「住み慣れたまちで、最期まで安心して暮らせるまちづくり」はHHMの基本理念です。「ホームホスピスカあさんの家」事業、「訪問看護ステーションぱりおん」事業は、一人一人の暮らしと人生を守る為に、一日も休むことができません。4月の緊急事態宣言より、コロナ感染のリスクから病院、介護施設での面会謝絶が続きました。**在宅療養支援相談室**には、「家に帰りたい」「家族で看取りたい」という切迫した相談が多く寄せられました。訪問看護はがん患者さんの在宅療養を支援、かあさんの家では、家族が寄り添えるように工夫して今期12名の方の旅立ちを支援しました。

生老病死は、人の自然な営みの中にあります。かあさんの家の方々は、医療依存度が高く重度の介護が必要ですし、また、訪問看護の利用者さんは、医療的なケアが必要とされる子どもさんやがんなど重篤な患者さんで、ほとんどが感染リスクの高い方々ばかりの暮らしを支えています。コロナ禍の中で、感染のリスクだけで、人と交わること、家族と触れ合うことの「つながり」を手放してはならないのではないかと考えました。感染管理と日常生活の維持を両立させる道を探り、人生

の最終段階の暮らしを守る為に、気の抜けないケアが続きました。

そして、新たな事業である**”街中ごちゃまぜプロジェクト”**が、実施に向けて具体的に動き出しました。2016年橘通東の実家跡地を宮崎の福祉のために活かしてほしいとのご遺族の提案を受けて以来、5年が経っていました。プロジェクトを組んで、月1回のペースで集まり構想してきたことを、「**たちばな在宅総合支援ハウス**」(仮称)実施に向けて始動。難病児と家族を地域で孤立させない取り組みを宮崎で展開するために、日本財団の難病児支援プログラム助成金を申請し、厳正なヒアリングをへて決定したのが9月でした。

訪問看護ステーションぱりおんを中心に、小児、障がい者短期入所、日中一時支援・児童発達支援等の事業を展開する為に、行政と施設基準などの詰めの打ち合わせをしたうえで、並行して実現のための建物・設備設計の打ち合わせを行いました。工事施工業者は大成建設ハウジングに決定し契約、設計は東京本社とオンライン、施工は九州支店との現場での打ち合わせと、両方で進められました。

日本財団の助成金と銀行融資等で予算を策定しつなぎ融資も受けて、12月22日に地鎮祭、いよいよ着工となりました。2021年4月から準備室を設けて、運用開始は、2021年10月1日を予定しています。

かあさんの家の見学・現場実習等受け入れ、看護学生の実習、研修医の受け入れ(平塚共済病院研修医2年目)など、感染防止の観点からほぼ中止となりました。また、日本財団ホームホスピス実践リーダー養成事業が本年度で終了となり、最後の研修生1名を受け入れました。現在、ホームホスピスが無い新潟市での開設を目指して準備中です。

これに伴って、一般社団法人全国ホームホスピス協会では、ホームホスピスの全国への展開を目指して、新たな事業「ホームホスピスの学校」の開講を準備しています。HHMは全国ホームホスピス協会事務局を担っていますが、その仕事の量も年々増加しています。

コロナ感染の拡大は、いまだ終息に至っていませんが、この中で見えてきたものがあります。それは、大規模で、より効率を上げることを求めてきた現代社会が、このパンデミックに対しては脆弱であったということです。その点では、ホームホスピスが小規模であること、あくまで個別ケアを徹底していることが、感染リスクを最小限に食い止めることができる要因となっていると考えます。

また、夏の集中豪雨の自然災害や、新型コロナウイルス感染症の社会のあり様を一変した禍は、大きな災害とも言えます。このような災害は今後も起こるだろうことを想定し、物心両面での備えを着実にしていくことが重要です。そして「住み慣れたまちで、最期まで安心して暮らせるまちづくり」へ、一歩ずつ進んでいきたいと考えます。

## 2、2020 年度(令和 2 年度) 事業活動実績

### 1) 在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア事業)

事業	事業概要	事業内容と実績
① 亡くした方を集い	実施日時: 毎月第 4 月曜日 10:30~ 場所: 日本キリスト教団 宮崎教会 担当: 脇坂峰子	◆実施日: 実施なし 新型コロナウイルスの流行で学校の休校を始め種々の集まりが難しくなった。早くの終息を願っている。 参加者の高齢化が進んでいるため、今後の活動をどのようにしていくか考えていきたい。 <p style="text-align: right;"><u>合計 0 日      活動延べ人数・・・0 名</u></p>
② 患者らいつらり	実施日時: 毎月第 3 木曜日 14:00~16:00 場所: 古賀総合病院 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科 担当: 峰 瑞枝 ◆ボランティア: 4名 峰 瑞枝、野平 トヨ子 前田 せつ子、山下 真理子	◆実施日: 実施なし 2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、古賀総合病院の面会が中止になり、病院からの連絡があり、患者らいつらりも行うことができなかった。病院に毎月末に電話し、ボランティアができるかを聞いていたが、面会を中止している為、お休みで…本の整理は看護師がしますのでと返事をいただく。2020 年度は 1 度も実施することができなかった。 <p style="text-align: right;"><u>合計 0 日      活動延べ人数・・・0 名</u></p> <p>*担当の峰さんより            本来ボランティアを行う予定の日にメンバーに集まっていた。みなさん、やる気を失くさないように、いつでも行けるようにちゃんと意識してくださっています。そのためにも、ボランティアはお休みですが、顔を合わせていきたいと思っています。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 宮崎聞き書き隊</p>	<p>◎聞き書き定例勉強会</p> <p>実施日時： 毎月第2日曜日 10:00～12:00</p> <p>場所： 暮らしの保健室 宮崎市民活動センター 担当：井上直敬</p> <p>聞き書き隊員： 本田澄子、入佐典子、峰瑞枝 西川良子、廣井寿美子 赤嶺智子、井上直敬 高橋好香、祐末めぐみ 上本野純子、野中ゆり</p> <p>◎聞き書きの研修</p>	<p>◆実施日（参加人数） 2020年4/12(1)、5/10(休会)、6/14(3)、7/12(2)、8/9(3)、9/13(6)、 10/11(4)、11/8(これからライフデザイン塾にて)、12/13(4) 2021年1/10(休会)、2/14(6)、3/14(3)</p> <p style="text-align: right;"><b>合計9回 延べ参加者数：32名</b></p> <p>講座を受けたあとを定着した活動に導くために、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的実施している。また交流の場、情報交換の場としての機能も有している。</p> <p>・上本野 純子 『母 富子の人生～神戸から宮崎に想いをつないで～』 老いた母親が語った人生を娘が聞き書きした。</p> <p>『これからライフデザイン塾①』 講師：小田 豊二（聞き書き作家） 11/8 宮崎市総合福祉センター 視聴覚室 受講者 会場 11名 オンライン 10名</p>
--	--	--

事業	事業概要	事業内容と実績
④ 看取り 寄り添いナース	ボランティア:久保野イツ子	◎活動実績なし
⑤ 緩和ケア病棟園芸ボランティア	<p>実施日時： 毎月第1・第3水曜日 10：00～12：00</p> <p>場所： 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭</p> <p>◆園芸ボランティア： 村中伸子、南涼子 高木典代、甲斐ケイ子 原田ゆみ子、牧野清子 安達周子、河野加代子 武田敏子 計9名</p>	<p>◎緩和ケア病棟の庭園の花の管理等</p> <p>◆手順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、緩和ケア病棟の受付に挨拶し、受付で鍵を借りる</li> <li>2、庭で植物等の手入れをする</li> <li>3、ボランティアルームで活動ノートを書き、受付で終了の旨伝え辞す</li> </ol> <p>◆実施日：なし 2020年3月は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止</p> <p style="text-align: right;"><b>合計0日 延べ参加人数 0名</b></p>
⑥ がん患者団体等 との情報交換	<p>AYA 世代お茶会</p> <p>実施日時： 毎月第4日曜日 13：30～15：30</p> <p>担当：太田幸子</p>	<p>◎宮崎がんサークル shiny への支援</p> <p>◆実施日(参加人数)</p> <p>2020年7/26(3)、8/30(中止)、9/20(3)、10/25(3)、11/22(中止) 12/20(中止)</p> <p>2021年1/17(中止)、2月～代表者さんの体調不良の為、中止</p> <p style="text-align: right;"><b>合計3日 延べ参加人数 9名</b></p>

## 2) 人材養成のための教育プログラム

### ①これからライフデザイン塾（2020年度日本郵便年賀寄付金配分事業）

#### 【開催概要】

第1回 期日：2020年11月8日(日)10:00～12:00

内容：みやざき聞き書き学校

講師：小田 豊二 氏

会場：宮崎市総合福祉保健センター 2F 視聴覚室

参加者：会場 11名、オンライン 10名



第2回 期日：2021年3月18日(木)13:30～16:00

内容：絵手紙教室

講師：仁田脇 康二 氏

会場：宮崎市民プラザ 大会議室

参加者：6名



第3回 期日：2021年3月24日(水)13:30～14:30

内容：認知症について一緒に考える

講師：萩野 寛 氏 市原 美穂 氏

会場：暮らしの保健室

参加者：14名



#### 【まとめ】

新型コロナウイルス感染防止のために集うことができなくなった影響を受けた。開催できなかった講座もあるが、できる限り開催できるよう調整をしていった。聞き書き教室では、ZOOM利用をしたことにより、全国から参加いただき交流することができた。講師の協力により、長年聞き書きボランティア活動をされてきた方のサプライズ卒業式を開催し、講師手書きの卒業証書を授与し、大変喜ばれた。

絵手紙教室では、春の花を題材にして仕上げることができたことにより、達成感を味わうとともに、「暮らしの保健室 ゆるりサロン」の活動に取り入れることが決まった。

コロナ禍でどこへ相談したらよいかわからないという電話が増えた。介護や医療だけでなく、日々の生活やこれからの人生についての話、毎年のように変わる制度を知りたい、理解したいという需要の高さも感じており、宮崎県内コロナ感染が落ち着いた3月に介護と医療の相談会を実施することができた。



## ②市民公開講演会（令和2年度宮崎市在宅療養相談事業）

映画「ピア～まちをつなぐもの～」上映会

講演会「ごちゃまぜの多職種連携で興す地域医療の革命」

【開催概要】 期日：2020年(令和2年) 7月23日(木・祝) 12:30～16:00

会場：宮崎市民文化ホール イベントホール

講師：吉村 学 氏（宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授）

来場者 109名 ボランティア（医師、看護師、ケアマネ、大学生、薬剤師等）：25名 事務局 6名

### 【まとめ】

地域包括ケアをより身近なものにするために、前年度から延期していた「ピア」の映画と講演会を、緊急時に対応できる医師や看護師を配置しながら感染症対策を徹底し、開催することができた。

市民講座終了後、永森氏により学生対象の意見交換会を実施した。

開催に際しては、予定より多くの来場者とボランティアの参加があり、コロナ禍で様々なイベントが中止になるなか、外出する機会となったことを喜ばれた。また、電話相談があった方が参加され、実際にお会いしてお話を聞くことができた。



## ③がん患者と家族のためのサポーター養成講座 （宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託）

「マギーズ流サポートを学ぶ」

### 【開催概要】

期日：2021年(令和3年)3月7日(日)

会場：宮崎市民プラザ 視聴覚室

時間：10時～15時(昼休み1時間)

ZOOMでのオンラインと会場のハイブリッド開催

申込者：62名 受講者：48名(全過程終了43名+途中退席5名)

参加費：無料

講師：秋山正子氏 認定NPO法人マギーズ東京センター長

栗原幸江氏 認定NPO法人マギーズ東京

コーディネーター：板井孝彦氏

宮崎大学医学部医学科 社会医学講座 生命・医療倫理学分野教授 臨床倫理部 部長

## 【内容】

10:00～ マギーズ流サポートって？五感を取り戻してのぞむには？ 講師：秋山正子

11:00～ 「聴く」ための感覚を磨く～「ナラティブ・メディスン」の体験を通じて～ 講師：栗原幸江

13:00～午後のセッション 栗原幸江

## 【参加者感想】

- ・ マギーズ東京で、2日間かけて行う研修の一部を体験することができた とても貴重な時間だった
- ・ 相手の話をよく聴くという人と人の関わりを通して、心の中を吐き出し整理し自分の力で歩いていけるようになる。
- ・ 予約制や ZOOM 開催と工夫して開催していることは参考となる。
- ・ 自分は受け入れられているという安心感は、建物などの環境と、聴き手の醸し出す雰囲気
- ・ 人は、それぞれの場所で違う顔をして生きている。素の自分を出せる、病院でも家でもない居場所が必要
- ・ 聴き手は、よく聴くためのトレーニングが必要。よく観る、読み解く、分かち合うことで、さらに興味を持って観る、読むこともでき、自分が受け入れられた体験、言葉にすることの難しさの体験をすることで、話し手のことをより理解することができる
- ・ 専門家も研修を受けている。私たちも、継続した研修が必要。



### 3) エンドオブライフケア支援事業

#### 【暮らしの保健室】

地域に開放した暮らしの保健室を目指して、

暮らしの保健室で催される内容を、毎月「暮らしの保健室だより」として発行した。

計 12 回発行

通年として、「ゆるりサロン」月・水 10:00～15:00 が開かれている。要支援までの認定を受けるまでもない一人暮らしの高齢の方や、要介護であっても、デイサービスのない日など、気軽に出かけられ、そして、そこに行くとなじみの顔があり、楽しみができる。そうすることで、健康が取り戻し、認知症などの進行を抑えることができている。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2020年4月～5月、7～8月 2021年1月は利用を停止し、その他の時期も利用人数の制限、検温、消毒、アクリルパーテーションを設置するなど感染予防対策に努めながら利用をしていった。

《暮らしの保健室利用状況》「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水 10:00～15:00

月	日	曜日	時間	内容	人数
4	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	1
5	8	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	中止
	10	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	中止
	16	土	15:00～17:00	理事会	10
	31	日	10:00～10:30	定期総会	3
6	12	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	4
	14	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	16	火	13:30～16:30	ふらっとカフェ ボランティアスタッフ会議	6
7	7	火	19:00～20:00	『ピア』映画上映会&講演会 実行委員会	10
	10	金	18:30～20:00	セルフお灸教室	2
	11	土	13:30～15:30	ふらっとカフェ in 暮らしの保健室	中止
	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	2
	26	日	13:30～15:30	宮崎がんサークルshiny お茶会(座談会)	3
8	7	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	中止
	9	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	30	日	13:30～15:30	宮崎がんサークルshiny お茶会(座談会)	中止

月	日	曜日	時間	内容	人数
9	11	金	10:30~12:00	ゆるり短歌会	中止
	13	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	6
	20	日	13:30~15:30	宮崎がんサークルshiny お茶会(座談会)	3
10	9	金	10:30~12:00	ゆるり短歌会	中止
	11	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	4
	17	土	13:00~16:00	ふらっとカフェ in 暮らしの保健室	7
	25	日	13:30~15:30	宮崎がんサークルshiny お茶会(座談会)	3
11	13	金	10:00~12:00	ゆるり短歌会	6
	14	土	13:00~16:00	ふらっとカフェ in 暮らしの保健室	8
	22	日	13:30~15:30	宮崎がんサークルshiny お茶会(座談会)	中止
12	11	金	10:30~12:00	ゆるり短歌会	6
	12	土	13:00~16:00	ふらっとカフェ in 暮らしの保健室	中止
	13	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	4
	20	日	13:30~15:30	宮崎がんサークルshiny お茶会(座談会)	中止
1	10	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	中止
	17	日	13:30~15:30	宮崎がんサークルshiny お茶会(座談会)	中止
2	12	金	10:30~12:00	ゆるり短歌会	6
	13	土	13:00~16:00	ふらっとカフェ in 暮らしの保健室	7
	14	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	6
3	13	土	13:00~16:00	ふらっとカフェ in 暮らしの保健室	10
	14	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	3
	24	水	13:30~14:30	第3回これからライフデザイン塾	14
	30	火	18:00~19:00	理事会	9

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>① 暮らしの保健室</p>	<p>◎ゆるりサロン            実施日時：            毎週月・水曜日（週2）            10:30～15:00</p> <p>担当理事：立川志乃</p> <p>ボランティア：            矢野小枝子、南谷佳子            藤本美穂、三堂悦子            小倉優子、近藤伸子</p> <p>体操指導：            三堂悦子、南谷佳子</p> <p>パッチワーク指導：            大山さよ子</p>   <p>クリスマス会</p>	<p>◆実施日（回数）            2020年4月(中止)、5月(中止)、6月(9)、7月(8)、8月(中止)、            9月(6)、10月(8)、11月(8)、12月(7)、2021年1月(中止)、2月            (6)、3月(10)            (※2020年4.5.8月 2021年1月は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止)  <b>合計 62回</b></p> <p>◆延べ利用者（人数）            2020年4月(0)、5月(0)、6月(34)、7月(40)、8月(0)            9月(23)、10月(32)、11月(26)、12月(28)、2021年1月(0)            2月(23)、3月(37)  <b>合計 243名</b></p> <p>◆延べボランティア数(人数)            2020年4月(0)、5月(0)、6月(37)、7月(30)、8月(0)、            9月(23)、10月(29)、11月(30)、12月(26)、            2021年2月(22)、3月(40)  <b>合計 237名</b></p> <p>年間行事：            7月 七夕さま            10月 ランチ会（和カフェ こまきにて）            11月 ランチ会（和カフェ こまきにて）            12月 クリスマス会(ウクレレ演奏・フラダンス)            3月 お花見・ランチ会(ニューウェルシティ宮崎レストランにて)            認知症について講演会</p> <p>・4～2月 イオン幸せのイエローシートキャンペーン参加</p> <p>4ヶ月間ゆるりサロンは休止、            とても寂しい思いをした。            音楽療法を1年間休んだのは残念！            コロナ感染予防対策として、            8名の利用者さんを            月曜日4名・水曜日4名と            密にならないよう分けて実施した。</p> 
	<p>◎えがおキッチン            講師：松井康代            (助産師・調理師)</p>	<p>今年度は、活動中止となり、残念でした。新年度は新型コロナの終息を願い、何か活動ができたらと思う。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
① 暮らしの保健室	<p>◎セルフケアのためのお灸教室</p> <p>講師：園田清美 (看護師・鍼灸師)</p>	<p>◆実施日・内容・参加人数（新規） 7/10（金）18：30～20：00 「入門編」2(2)</p> <p style="text-align: right;"><u>合計 1回 参加人数 2(2)名</u></p> <p>今年はコロナ禍の中、定期的な教室を開始するのができませんでした。7月に1回開催させていただきました。 参加者は高齢の方で家族が付き添われての実施でしたが、お灸の効果や取扱いについてお話させていただき和やかに楽しく時間を共有させていただきました。ありがとうございました。 次年度は感染状況にもよりますが、可能な時期に実施させていただけるとありがたいです。宜しくお願い致します。</p>
	<p>◎ゆるり短歌会</p> <p>実施日時： 隔月第2金曜日 10:30～12:00</p> <p>指導：堀越照代 担当：立川志乃</p> <p>会友：6名 戸部恵美子、興梶恵子 稲葉厚子、堀越照代 長野律子、立川志乃</p>	<p>◆実施日(参加人数)</p> <p>2020年6/12(4)、11/13(6)、12/11(6)、2021年2/12(6)</p> <p style="text-align: right;"><u>合計 4回 延べ参加人数 22名</u></p> <p>会友 6名 2ヶ月に1度の短歌会を楽しみにしている。</p> <p>第35回ゆるり短歌会</p> <p>◎惑うなくとうとう流る大淀川冬晴れの陽の水の明かるし ◎如月に羽織る一枚手に持ちぬメロディーにのせ合唱する「糸」 ◎骨格が変化したるや中学生自転車をこぐ手足の長し ◎南郷の夜の駅舎に義弟の手握る我が声裏返りたり ◎和やかに浅瀬に立てり白鷺の何を思ふや俄に飛び立つ ◎人類は知恵を尽くして生き延びて地球の上にマスク散らばる</p> <p>*ホームホスピス宮崎のホームページに作品を掲載。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>② がんサロン (ふらっとカフェ) 事業・主催 宮崎県運営企画 ホームホスピス宮崎</p>	<p>実施日時： 毎月第2水曜日 県立宮崎病院 会議室 使用不可のため 4/8 中止 5/13 中止 6/10 中止</p> <p>毎月第2土曜日 13:30～16:00 場所：暮らしの保健室 (県立宮崎病院の会議室 が使用できない間) (6/16 スタッフ研修) 7/11 中止 8/8 中止 9/12 中止 10/17 実施・11/14 実施 12/12 中止 2021年1/9 中止 2/13 実施・3/13 実施</p> <p>カフェスタッフ： 市原美穂、久保野イツ子 太田幸子、有村喜久代 緒方道子、竹井由夏 村中伸子 (アロマセラピスト) 廣島早苗</p> <p>担当：太田幸子</p>	<p>◆<u>内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県立宮崎病院の会議室使用ができない間でも、がんの患者さんは、不安をかかえ、どこに何を相談したらよいか、何を医療者に伝えたらわかってもらえるかなど、心の内を吐き出し整理していく場所が必要と考える。宮崎県と協議し、7月より「暮らしの保健室」での開催を認められた。</li> <li>・開催にあたり、感染対策の方法を報告、参加者の健康基準、宮崎市中の感染状況により県の指示に従い、事前に、スタッフは感染対策と、当日の流れをシミュレーション。</li> <li>・窓の開放、室内の掃除、テーブルや椅子等の消毒をし、入り口での手指消毒、検温、連絡先、問診票の記入。</li> <li>・お茶菓子は出さず、飲料はペットボトルで個人毎に提供する。</li> <li>・アロママッサージの時は、マスク着用と間にビニールシートのパーティションを設けることで実施した。施術者、受ける側も、前後の手洗いをすることで、手を介した感染を防ぐ。</li> </ul> <p>◆<u>参加者の感想</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんになり不安だったが、同じがん種の方の話が聞けて、疑問が解消された。</li> <li>・がんの先輩の話聞いて、このような体験は自分一人ではないこと、心の持ちよう、医師への上手な伝え方などを共有できた。</li> <li>・がんになり、うつようになっていたが、ここに来てがんになって久しぶりに笑うことができた。</li> <li>・アロママッサージ中は痺れを感じない時間があり、症状も軽くなった。</li> <li>・本を読むことができて、情報が得られた。</li> <li>・久しぶりに対面で会って、話ができて楽しかった。</li> </ul> <p>◆<u>まとめ</u></p> <p>感染の心配と、場所がわかりにくく、参加者は少なかったが、密にならずに実施することができた。</p> <p>県病院には、開催見込みが立った時点(開催の1週間前くらい)で、チラシを作成し持参したため、多くの患者さんに知ってもらうことはできなかったが、紹介の患者さんもあった。</p> <p>心の内を吐き出すことで、心が軽くなる、それを聞いた先輩が自分の体験を思い出し話すことで、だれかの役に立つことができるなど、双方向の効果が見えた。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 宮崎市在宅療養支援事業（よろず相談室）</p>	<p>◎在宅療養 でんわ相談室 (宮崎市補助事業)</p> <p>相談担当： 市原美穂、吉村照代 橋口英治、堤郁子</p> <p>相談件数…55 件 相談内容内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の寄り添い</li> <li>・施設入所</li> <li>・在宅医療、看取りなど</li> </ul> <p>55 件のうち かあさんの家入居 7 名</p> 	<p>① 相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎市において、がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で、馴染みの人に囲まれて最期の時を過ごしたいと在宅療養を選択して、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き語ることで、自分自身の気持ちや症状を整理し、「わたしらしく生きる」道標の場を設置する。</li> <li>・相談窓口設置の周知のためにチラシ作成し、自治会回覧板での案内。</li> </ul> <p>② 相談に応じる為に、メンタルケアや看取り、認知症の介護に精通している看護師等の相談員を置く。</p> <p>③ 相談専用電話機を設置し、常に相談できる体制を整える。 専用相談電話 0985-67-5003 相談日：週 5 日午前 10 時から午後 5 時まで開設。 相談は、電話、または面接してお話を聞く。相談料無料。 相談内容に関する個人情報保護の重要性を認識し適正に取扱う。</p> <p>◆相談内容と対応</p> <p>癌の治療に関して抗がん剤や痛みの治療についてなどの専門的な医療の問題や、どのように施設を選べばいいのかなど、医療や介護に関しての専門的な相談が多い。</p> <p>癌に関する相談の場合は「ふらっとカフェ」や「マギーズ東京電話相談」を紹介している。対面で話をうかがうことが難しかったため、電話相談に時間をかけ、どうしてもご本人にとって一番最適なのかを一緒に考える時間を取っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やその後の外出自粛、病院や施設での面会制限による相談内容が増えた。</p> <p>外出自粛になったことで、「どこへ相談したらよいかわからない」「在宅介護に限界を感じていたら回覧板でチラシが入ってきた」といった声や、「施設や病院が面会禁止となり、様子がわからない。このまま会えないままなのか。」「最期は寄り添いたいが面会は 1 日 5 分と言われている」など、人との接触を減らすのが故の相談があった。</p> <p>今年度は、面会ができないことの不安、ストレス、人と関わりたいという相談が増えた。家族や身近な友人にも会えず、専門機関にも行くことも自粛する状況のなか、電話相談窓口を設置していたことはこの時期に合っており、自治会へ回覧したタイミングも良かった。</p>

#### 4) ホームホスピスカあさんの家事業

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ホームホスピスカあさんの家</p>	<p>◎かあさんの家の運営 (2021年3月31日現在)</p> <p>【統括マネージャー】 久保野イツ子</p> <p>【主任】 曾師・薬師寺恵 霧島代行・甲斐昌江 月見ヶ丘・荒川久美子</p> <p>開設 10 周年 かあさんの家月見ヶ丘 11 月</p>  <p>新型コロナウイルス 感染への対策</p>	<p>≪事業内容≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 訪問診療、訪問看護と必要に応じてその他の職種の訪問サービスを受け入れ、地域連携サービスを整える。ここから、他の事業所のデイサービスなど利用する。</li> <li>② 24時間365日対応で、夜間1名、昼間2名のスタッフ配置。</li> <li>③ 家族を対象とした死のプロセスの理解や、看取りの心構えなどを、かかりつけ医や訪問看護ステーションと連携して保管する。看取りの時は、家族の食事や寝具などを提供し、安心して寄り添えるように配慮する。</li> <li>④ 高齢者の摂食嚥下に配慮して嚥下訓練やソフト食の提供。調理担当スタッフがいることで、台所からの音や匂いがあふれ、食欲が増す効果がみられるようになった。</li> <li>⑤ 本人の意思を尊重した個別ケアを実施する。(排泄、食事、入浴、睡眠など)</li> <li>⑥ 防災など地域住民と連携し、日ごろからのコミュニケーションを図る。日頃からの挨拶や地区の行事に参加するようにしている。</li> <li>⑦ 空いている民家を利用し、地域の共有財産として限りなく自宅に近い空間を提供、それが安心に繋がっている。</li> <li>⑧ 研修医、医学生、看護学生、自治学院、在宅ホスピスリーダー養成研修生の受け入れを本年度は実現が困難だった。</li> </ol> <p>2010年11月に開設した月見ヶ丘が10周年を迎えた。ずっと見守ってくださっている地域の方々の理解と支援に感謝し、記念品を配布して挨拶に回った。</p> <p>◆かあさんの家の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納得のいく看取りを支えるために、短期間の入居を受け入れた。</li> <li>・感染予防の徹底と、空間の工夫と環境を整える。</li> <li>・ご家族へのコロナ対策への理解を求める文書を配布した。</li> </ul> <p>病院や施設での家族の面会謝絶が続き、特に県外在住の家族は、会えない最期は看取ってやりたい・・・という訴えに、急遽看取りのために受け入れた。本人にとっても、家族に会えないこと、人生の到着点ともいえるその時に、孤独の中で旅立つことほど辛いことはない。汚染ゾーンをわけて庭から出入りしてもらおうなどの工夫をした。</p> <p>終末期にある方の場合、最期はご家族に寄り添っていただきたいので、庭から直接部屋に出入りできるようにし、他の入居者との接触を避けるようにゾーンわけをした。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
ホームホスピスかあさんの家	<p><b>かあさんの家・曾師</b></p> <p>住人数：4名</p> <p>平均介護度：3.8</p> <p>スタッフ：介護職7名 調理1名</p>	<p><b>☆かあさんの家・曾師</b></p> <p>看取り数：4名 新たな入居者：4名、 現在入居者：4名（認知症2名、透析1名、全盲1名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心疾患のために入院、面会謝絶のために認知症状が悪化し、ADL低下しターミナル期と伝えられ入居。20日後に看取りとなる。</li> <li>・病院で治療中であったが、家族の看取りを希望されて入居。1カ月後に看取りとなる。</li> <li>・訪問看護STぱりおんのサポートで在宅での療養をされていて、在宅での暮らしが困難になり入居された方2名。いずれも1カ月から8カ月の短い入居であったが、ご家族の看取りを支援できた。</li> </ul>
	<p><b>かあさんの家・霧島</b></p> <p>住人の数：5名</p> <p>平均介護度：4</p> <p>スタッフ：介護職6名 調理1名</p>	<p><b>☆かあさんの家・霧島</b></p> <p>看取り数：3名 新たな入居者：3名</p> <p>現在入居者：5名（神経難病1名、認知症3名、心疾患1名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での病院では家族の面会謝絶が続いている状況で、家族が看取ってやりたいと相談があった。いずれも病名はがんなどでターミナル期と言われていた方々3名である。面会ができるように、居室に外から出入りできるようにし他の入居者と接触がないようゾーン分けし、入居期間は2日から1か月と短期間であったが、最期までご家族が寄り添って看取ることができた。</li> </ul>
	<p><b>かあさんの家・月見ヶ丘</b></p> <p>住人の数：5名</p> <p>平均介護度：4.2</p> <p>スタッフ：介護職6名 調理1名</p>	<p><b>☆かあさんの家・月見ヶ丘</b></p> <p>看取り数：5名 新たな入居者：4名、短期入所1名</p> <p>現在入居者：5名（気管カニューレ1名、経管栄養1名、認知症2名、）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現入居者は、気管カニューレ、経管栄養、喀たん吸引などの医行為が必要で、重度介護が必要な方々である。病状は落ち着いて居てそれなりに穏やかな生活が継続されている。</li> <li>・脳腫瘍の為在宅医療で過ごされていたが、家族の介護負担が増し入居。訪問診療、看護とも在宅から移行。食べられなくなって経管栄養導入。コロナ感染の中で、ベランダからの出入りでご家族の看取りとなった。</li> <li>・コロナ禍のために病院では家族の看取りができないために入居希望の方が3名である。病院を退院後3日後に逝去。また自宅での一人暮らしが困難とのことで覚悟されて入居されたが、翌日に逝去された。・体調がすぐれない為病院受診し、その時点でがんのターミナル期と診断され入院となる。ご主人は骨折のために他医療機関に入院中であったが、それまで60年寄り添って暮らしてきたご夫婦が、会えないまま最期を迎えるのは辛いとご家族から相談を受け、お二人同時に退院し、ベットを並べて入居。ご家族も県外から駆け付けて看取ることができた。</li> </ul> <p>HHM設立当初からボランティアとして活動を支えてくれた方であり、「最期はかあさんの家でお世話になるのかな」と言われて2週間過ごされた。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
ホームホスピスかあさんの家	<p>◎コロナ感染対策とご家族の協力</p> <p>◎空間と環境</p>  <p>季節を感じられるように折り紙で壁面飾り(曾師)</p> <p>◎行事や研修生の受け入れ</p>  <p>お正月料理 (月見ヶ丘)</p>	<p>◆コロナ禍の中でのご家族の面会には、一律に面会謝絶をするのではなく、感染状況に合わせて面会の制限を設け、ご家族には協力依頼を文書などで伝えた。まず“ウイルスを持ち込まない”ことをご理解いただき、玄関口で検温、発熱している場合は出入りを禁止。マスク着用、手指消毒、フェイスシールドの装着などを徹底し、面会の滞在時間は10分から15分程度でと制限。県外、特に感染拡大地域からの来訪は、10日から2週間の猶予をもって来訪してもらった。</p> <p>また、スタッフも“ウイルスを持ち込まない”ように細心の注意を払っての日常生活が続いた。これまでインフルエンザなどの感染症の際のケアで、日頃から汚物動線と生活動線の分離ができていたこと、必ず一人一人グローブを交換してケアにあたっていることなど、感染予防が日常のケアに導入されていたことで迅速に対応できた。</p> <p>◆人と人との接触感染で広がるコロナウイルスに対して、リスクを抑える要因として、1軒あたり5人という小さなコミュニティであることがあげられる。接触する家族やスタッフの数が限られており、各々の生活の実態が把握でき、このコミュニティを拡大しないことが、リスクを最小限にとどめる要因であると考えます。</p> <p>また、かあさんの家は民家であることから、どの部屋も掃き出し窓があり、生活空間と居室を区切ってゾーンを分けることができる構造である。小規模であり、こまめに清掃して、窓からの換気も充分に行え、どの部屋も日光を適度に取り込むことができる。これらの条件は、100年前にナイチンゲールが「住居の環境に気を配ることで、感染症を予防できる」と指摘しており、現代のパンデミックにも通じる。</p> <p>◆お誕生会やお花見会 例年、それぞれのお誕生会や恒例のフローランテでのお花見には、ご家族に積極的にかかわっていただき、スタッフも一緒に楽しむように準備していたが、本年度はご家族の面会や出入りを制限していたために、お花見は中止し、誕生会は写真や動画で伝えた。</p> <p>◆研修生の受け入れ ・研修医や看護学生の研修や実習などを受け入れが困難の状態が続いて宮崎大学医学性の研修は中止となった。 ・宮崎大学医学部看護学科総合実習は、研修に入る前の2週間、自粛生活をしたうえで受け入れた。卒業前の看護実習がほとんど受け入れ機関がなくできない状態であったために、かあさんの家での実習は貴重な体験となったとの報告であった。</p> <p style="text-align: center;">7月15日～8月3日 <span style="float: right;">【2名】</span></p>

## 5) 医療・介護保険規定による事業

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>① 訪問介護ステーションぱりおん</p>	<p>★管理者：甲斐昌江</p> <p>★サービス提供責任者： 薬師寺恵 甲斐昌江 荒川久美子</p> <p>★スタッフ：20名 (2021年3月31日現在)</p> <p><u>介護福祉士11名</u> 甲斐昌江、荒川久美子 薬師寺恵、堀美知子 川越和子(准看)、二宮淳 日高静佳(准看)、太田幸 里脇希実子、山田訓代 川越やよい</p> <p><u>ヘルパー1級：1名</u> 久保野イツ子(看護師)</p> <p><u>ヘルパー2級：6名</u> 前田なつ、深井まゆみ 松本まゆみ、渡辺憲子 濱田美香(准看) 妹尾和美(准看)</p> <p><u>正看護師：1名</u> 橋口英治</p> <p><u>夜勤専従：1名</u> 川下春美(准看)</p> <p>神戸なごみの家 YouTube ホームホスピスからのお便り</p>	<p><b>【内部研修】</b> ①毎月初めに主任会議(シフト会議) ②定例スタッフ研修(毎月、各家ごと) 新型コロナウイルス感染対策のため中止</p> <p><b>【外部研修】(参加人数)</b> 2020年9/25～10/17の間に少人数で参加 第4回ホームホスピス実践者育成塾アーカイブスタッフ研修(20) 12/14 全国ホームホスピス協会九州支部研修(オンライン)(2)</p> <p style="text-align: center;"><b><u>講座数：2回 延べ参加人数：22名</u></b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>インタビュー撮影 9月8日 月見ヶ丘 甲斐昌江 9月8日 曾師 深井まゆみ 9月9日 霧島 太田幸</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p><a href="https://www.youtube.com/channel/UCSM2iOAMEiXZL1XxLas8nnQ">https://www.youtube.com/channel/UCSM2iOAMEiXZL1XxLas8nnQ</a></p> </div>

事業	事業概要	事業内容と実績																																																																																																																						
② 訪問看護ステーションぱりおん	<p>★所長：堤育子</p> <p>★常勤：            広瀬知佳            吉田幸代(4月入職)            日隠由美子(理学療法士)            笠原由紀乃            茅房宮子(9月入職)            村山圭子            (理学療法士 12月入職)</p> <p>★非常勤：            堀尾美恵子            今東香奈            田山地利果(理学療法士)</p> <p>★非常勤事務員：            奈須京子            立川美穂</p> <p>◎研修参加</p> <p>◎実習受け入れ</p>	<p><u>事業内容と実績</u></p> <table border="1" data-bbox="587 241 1337 857"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>介護件数</th> <th>医療件数</th> <th>介護予防</th> <th>在総診</th> <th>自費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>106</td><td>348</td><td></td><td></td><td></td><td>454</td></tr> <tr><td>5</td><td>125</td><td>373</td><td></td><td></td><td></td><td>498</td></tr> <tr><td>6</td><td>147</td><td>347</td><td></td><td></td><td></td><td>494</td></tr> <tr><td>7</td><td>147</td><td>348</td><td></td><td></td><td></td><td>495</td></tr> <tr><td>8</td><td>148</td><td>318</td><td></td><td></td><td></td><td>466</td></tr> <tr><td>9</td><td>144</td><td>373</td><td></td><td></td><td></td><td>517</td></tr> <tr><td>10</td><td>148</td><td>417</td><td></td><td></td><td></td><td>565</td></tr> <tr><td>11</td><td>158</td><td>371</td><td></td><td></td><td></td><td>529</td></tr> <tr><td>12</td><td>138</td><td>310</td><td></td><td></td><td></td><td>448</td></tr> <tr><td>1</td><td>146</td><td>365</td><td></td><td></td><td></td><td>511</td></tr> <tr><td>2</td><td>158</td><td>331</td><td></td><td></td><td></td><td>489</td></tr> <tr><td>3</td><td>176</td><td>424</td><td></td><td></td><td></td><td>600</td></tr> <tr><td>計</td><td>1741</td><td>4325</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>6066</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><u>延べ訪問回数 6,066 件</u></p> <p><u>利用者数 (月別)</u>            4月 45人 5月 44人 6月 52人 7月 52人 8月 52人 9月 55人            10月 59人 11月 62人 12月 53人 1月 62人 2月 63人 3月 67人  <u>延べ人数 666 人</u></p> <p><u>利用者病名</u></p> <div data-bbox="533 1133 1449 1568"> <table border="1" data-bbox="533 1133 1449 1568"> <caption>疾患別割合</caption> <thead> <tr> <th>疾患名</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>癌末期</td><td>11%</td></tr> <tr><td>がん</td><td>3%</td></tr> <tr><td>小児</td><td>25%</td></tr> <tr><td>慢性疾患</td><td>29%</td></tr> <tr><td>呼吸器疾患</td><td>5%</td></tr> <tr><td>認知症</td><td>20%</td></tr> <tr><td>骨筋肉疾患</td><td>2%</td></tr> <tr><td>難病</td><td>3%</td></tr> <tr><td>精神</td><td>2%</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>10/15 感染管理(堤、笠原) 看護協会            1/7 心電図研修(広瀬、山本、笠原) 所内            1/13 CV管理(広瀬、堤、笠原、吉田、堀尾) 所内            2月 市集団指導(全員) 所内            2/3 小児在宅(堤、日隠) zoom            2/11 自立支援(堤) zoom            2/15 小児看護(吉田、広瀬、堤、日隠) 所内            2/21 あそび研修(堤) 所内            3/3 症例検討(堤、日隠、広瀬、吉田) zoom            3/7 がんサポーター養成講座(日隠、今東、堀尾) zoom            3/6 県看護協会(吉田、堤、笠原) 所内            3/16 小児看護(笠原、広瀬、堀尾、今東、日隠) 所内</p> <p>宮崎大学医学部看護科 30名</p>	月	介護件数	医療件数	介護予防	在総診	自費	計	4	106	348				454	5	125	373				498	6	147	347				494	7	147	348				495	8	148	318				466	9	144	373				517	10	148	417				565	11	158	371				529	12	138	310				448	1	146	365				511	2	158	331				489	3	176	424				600	計	1741	4325	0	0	0	6066	疾患名	割合	癌末期	11%	がん	3%	小児	25%	慢性疾患	29%	呼吸器疾患	5%	認知症	20%	骨筋肉疾患	2%	難病	3%	精神	2%
	月	介護件数	医療件数	介護予防	在総診	自費	計																																																																																																																	
	4	106	348				454																																																																																																																	
	5	125	373				498																																																																																																																	
	6	147	347				494																																																																																																																	
	7	147	348				495																																																																																																																	
	8	148	318				466																																																																																																																	
	9	144	373				517																																																																																																																	
	10	148	417				565																																																																																																																	
	11	158	371				529																																																																																																																	
12	138	310				448																																																																																																																		
1	146	365				511																																																																																																																		
2	158	331				489																																																																																																																		
3	176	424				600																																																																																																																		
計	1741	4325	0	0	0	6066																																																																																																																		
疾患名	割合																																																																																																																							
癌末期	11%																																																																																																																							
がん	3%																																																																																																																							
小児	25%																																																																																																																							
慢性疾患	29%																																																																																																																							
呼吸器疾患	5%																																																																																																																							
認知症	20%																																																																																																																							
骨筋肉疾患	2%																																																																																																																							
難病	3%																																																																																																																							
精神	2%																																																																																																																							

## 6) たちばな在宅総合支援ハウス事業(街ん中ごちやまぜプロジェクト)

コロナ禍のため、実行委員会の開催ができず、グループメールによる進捗報告や意見集約を行った。また、助成金の決定や建設に関する会議については、半数回以上をオンラインによる会議として進めてきた。

### 【メンバー】

吉村学、黒岩雄二、堤育子、市原美穂、久保野イツ子、萩原尉子、川添英司、上田理加、岡元俊雄  
宇都仁恵、日隠由美子、黒木智子、岡田瑞穂、広瀬知佳

### 【会議】

#### 1. 建設関係打ち合わせ

- 4/21 オンライン会議 大成建設⇄恒久本部事務局
- 4/28 オンライン会議 大成建設⇄恒久本部事務局
- 5/8 オンライン会議 大成建設⇄恒久本部事務局 設計内容打ち合わせ①
- 5/19 オンライン会議 大成建設⇄恒久本部事務局 設計内容打ち合わせ②
- 5/29 オンライン会議 大成建設⇄恒久本部事務局 設計内容打ち合わせ③
- 6/9、6/10 恒久事務局にてカラーリング打ち合わせ④
- 6/28、6/2 設計内容打ち合わせ⑤、⑥
- 7/14 大成建設⇄恒久本部事務局オンライン打ち合わせ
- 7/24、25 恒久事務局にて打ち合わせ(東京本社2名、九州支社2名)
- 10/12 大成建設との契約
- 12/2 太陽光発電の検討等打ち合わせ
- 12/21 地鎮祭、起工式、近隣あいさつ回り
- 3/1 現地打ち合わせ
- 3/19 上棟、現地にて打ち合わせ内容の確認  
大成建設打合せ・・・計16回



地鎮祭

#### 2. 助成金打ち合わせ(日本財団)

- 4/20 オンライン会議 日本財団⇄恒久本部事務局
- 7/13 オンライン会議 日本財団⇄恒久本部事務局
- 7/28 オンライン会議 日本財団⇄恒久本部事務局
- 9/17 オンライン会議 日本財団⇄恒久本部事務局
- 9/24 日本財団助成金決定



#### 3. その他

- 7/28 土地賃貸契約(本部様) ※新宿の公証役場にて代理人に秋山正子氏をお願いした。
- 11/6 宮崎市長への事業説明

その他、宮崎市障がい福祉課、宮崎県医療薬務課との打ち合わせ及び日本政策金融公庫、宮崎太陽銀行との融資打ち合わせを実施。

## 7) ホームホスピス推進研修センター事業

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>① 日本財団・在宅ホスピス実践リーダー養成研修</p>	<p>日本財団 ホームホスピス 実践リーダー養成研修 担当： 久保野イツ子</p>	<p><b>【目的】</b> 看取りを含む質の高い在宅ホスピスケアを行う専門職の養成</p> <p><b>【内容】</b> 研修受け入れ機関として、ホームホスピスカあさんの家において、現場中心のホスピスケア・看取りの実地研修を6か月間にわたり行う。</p> <p><b>【研修者】</b> 看護師・介護福祉士・ケアマネジャーなどの専門職であること。</p> <p><b>【支援内容】</b> ・研修生の生活費補助（無給の場合）と受け入れ機関の研修費用が助成される。原則として研修者1名あたり45万円/月</p> <p>☆松井 美嘉子 (新潟県新潟市) 2020年5月～2020年10月</p> <p>※日本財団在宅ホスピス事業の見直しにより、ホームホスピス実践リーダー養成事業は今年度までで終了となる。</p> 
<p>② ホームホスピススキルアップ研修</p>	<p>全国のホームホスピスから研修生の受け入れ *全国ホームホスピス協会より委託</p>	<p>受入なし</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
<b>③ 一般社団法人全国ホームホスピス協会の事務局運営</b>	<p><b>事務局体制</b></p> <p>理事長：市原美穂  事務局長：黒岩雄二  事務局：岡田瑞穂  岩切知峰  書記：古野たづ子</p> <p><b>理事会：</b></p> <p>理事：  市原美穂  松本京子  竹熊千晶  樋口千恵子  高橋紘士  金居久美子</p> <p>監事：  岡本峰子</p>	<p><b>一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局業務委託</b></p> <p><b>【業務内容と実績】</b></p> <p>① 会員管理  正会員 42・準会員 4</p> <p>② 理事会の開催  2020年 5/12WEB、6/15WEB、7/29・30WEB、8/8WEB  9/24WEB、11/14 東京都・WEB、3/1WEB  <p style="text-align: right;"><u>計 7回</u></p> <p>・理事会の資料作成、旅費の支払い各理事との連絡などの業務</p> <p>③ 定期総会（WEB）  期日：2020年 11月 27日  ・総会の運営、資料作成</p> <p>④ ホームホスピスの認定業務（現認定 13 法人）</p> <p>⑤ 認定審査業務（レビュー）</p> <p>⑥ 実践リーダーリーダー研修の手続き・事務研修業務</p> <p>⑦ 全国のホームホスピスの運営に関する相談・緊急支援</p> <p>⑧ 拠点整備団体の推薦協会主催の研修会の運営</p> <p>⑨ 研修会の実施  《第4回ホームホスピス実践者育成塾》 WEB 開催  期日：2020年 9月 12、13日  《第9回ホームホスピス全国合同研修会》 WEB 開催  期日：2020年 12月 6日</p> <p>⑩ ホームページ運営・ニュースレター（たんぼぼ）の発行</p> <p>⑪ 全国の支部活動の支援  《支部研修会》  期日：2020年 12月 14日 九州支部  2021年 3月 17日 関東・東日本支部</p> <p>⑫ 新しく開設されたホームホスピスへの支援</p> <p>⑬ 助成金の申請他、ホームホスピスの運営に関する資料作成などの業務</p> <p>⑭ 災害復興支援事業 寄附金配分（メットライフ生命・メットライフ財団）</p> <p><b>【今期の成果物】</b></p> <p>・ニュースレター（たんぼぼ 4号）  ・事業報告書</p> </p>

## 8) 情報・広報

### ① ニュース発行及びパンフレット

- ・ニュースレター 2020年6月発行…29号  
2021年1月発行…30号
- ・暮らしの保健室だより 毎月発行(12回)
- ・ブログ(ぱりおん) <https://blog.canpan.info/hhmizaki/>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/homehospice.miyazaki/>
- ・ホームページ <https://www.npo-hhm.jp/>

### マスコミなどの紹介

#### 《雑誌などの掲載の雑誌名》

2021年2月 暮らしの保健室ガイドブック

#### 《新聞の掲載》

2020年8/4~10/3 西日本新聞(聞き書きシリーズ45回)

2020年11月25日 宮崎日日新聞

2020年12月18日 宮崎日日新聞

2021年2月26日 読売新聞

### 認 証

非営利組織のためのグッドガバナンス認証

2020年7月31日 一般社団法人非営利組織評価センター



### 表 彰

「看護の日」記念宮崎県知事表彰 久保野イツ子



### ② 講師派遣

月	日	曜	講 演		I 市原K 久保野 T 堤Y 吉田
4	11	土	看取りを考える	静岡県	I
5	13	水	宮崎看護専門学校医療専門課程	宮崎市	T
6	9	火	日南看護専門学校	日南市	T
	30	火	熊本大学医学部看護学科	熊本県	T
7	10	金	宮崎大学医学部看護学科	宮崎市	T
8	18	火	九州保健福祉大学総合医療専門学校	宮崎市	K
9	19	土	在宅・施設看取り研修	福岡県	I
10	17	土	宮崎県看護協会セカンドベル	宮崎市	T
11	10	火	宮崎県立看護大学	宮崎市	I
	23	月	第16回在宅医療推進フォーラム(配信)	東京都	I
1	28	木	小児医療的ケアコーディネーター講師	宮崎市	Y
3	6	土	宮崎医療連携実務書協議会研修会(zoom内オンライン)	宮崎市	I
合 計					11

### ③ 見学者の受け入れ

なし

## 9)助成・寄付

### ・日本財団難病支援事業助成

「たちばな在宅総合支援ハウス」（仮称）の建築費

### ・2020年度日本郵便年賀寄付金配分事業

「これからライフデザイン塾」実施に関わる運営経費の助成金 140,655円

### ・読売光と愛の事業団

地域で人生の最終段階にあるがん患者らのみとりや自宅での生活支援及び家族のサポートなどの活動を支援する団体への助成金 50万円。

新型コロナウイルス感染拡大により避難所の定員も減るなか、在宅避難時に必要なポータブルバッテリーや「かあさんの家」を一時的な避難所として利用していただくための環境を設備。



発電機



ポータブル電源

### ・新型コロナウイルス感染拡大による助成・寄付

#### 災害復興支援特別基金配分事業

- ・全国ホームホスピス協会を通して、メットライフ生命・財団様から支援金 50万円×ホームホスピス 3軒=150万円（人件費、空気清浄機、マスク、防護服等の購入）
- ・メットライフ生命様より、手作り足ふきマットや雑巾の寄付（掃除や入浴介助時に活用）
- ・日本訪問看護財団様を通して、メットライフ生命・財団様より感染防護具の寄付
- ・日本財団様を通して、ユニクロ様よりエアリズムマスクの寄付 900枚
- ・宮崎県地域を支えるNPO支援事業から物資調達等に要する経費の補助 5万円（暮らしの保健室換気のための網戸設置、非接触型温度計購入）

その他、感染拡大当初、物資が不足した時期にかあさんの家ご家族様や、プーラビータ霧島店、全国ホームホスピス協会からマスク、フェイスシールド、ポリガウン等の支援物資支給。日頃からホームホスピスを応援してくださる方々より、物資購入や手配への協力があった。



手作り雑巾と足ふきマット



使い捨てガウン、グローブ

## 10)組織運営

### ①理事会・定期総会

#### ・理事会

場所：暮らしの保健室

日時： 第1回 2020年(令和2年)5月16日19時

- ・定期総会の議案について

第2回 2020年(令和2年)9月25日19時

- ・たちばな在宅総合支援ハウスの請負業者選定について
- ・たちばな在宅総合支援ハウスの予定価格について

第3回 2020年(令和2年)11月30日18時

- ・理事の辞任について

第4回 2021年(令和3年)2月9日18時

- ・各種規定の制定について

第5回 2021年(令和3年)3月30日18時

- ・令和3年度 事業計画及び予算について
- ・定款変更について
- ・休眠預金等活用事業の契約締結承認について
- ・令和4年度 事業計画及び予算について
- ・給与表に追加する手当てについて



#### ・定期総会

定時総会 新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、定款第28条・第29条の規定により書面表決とさせていただきます案内を郵送する。

議長：市原美穂 議事録署名人：黒岩雄二、久保野イツ子

第1号議案 2019年度(平成31年度)活動報告・決算報告

正会員総数18名のうち 賛成18名 反対0名

報告事項…2020年度(令和2年度) 事業計画・予算

#### ・会員(2021年3月31日現在)

正会員17名 賛助会員49名 団体賛助会員1団体

#### ・寄付者

50名(団体も含む)

## ②事務局

事務局会議…開催日：日にちの設定はしていないが、その都度打ち合わせを行ってきた。

参加者：市原美穂、久保野イツ子、黒岩雄二、甲斐昌江、立川志乃、岡田瑞穂、久保野郁美、堤育子  
舟井美穂

《事務局体制》 総務：岡田瑞穂、舟井美穂

経理：久保野郁美

#### 【研修会参加】

5月28日 ZOOMセミナー 岡田

9月5日 FRJ オンライン研修 岡田

9月12, 13日 ホームホスピス実践者育成塾 久保野 舟井

9月14日 介護職員定着オンラインセミナー 岡田

12月6日 ホームホスピス全国合同研修会 舟井

